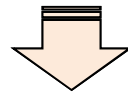


内水処理検討（橋南地区）

検討条件の整理

【H22.1の内水処理検討（案）】

- 土地の利用状況、河川の整備状況は現在の状況で検討
- 大橋川の整備状況は、次のケースで検討
 - ダム・放水路あり、大橋川現況で築堤、下流狭窄部拡幅なし
 - 内水対策（案）は、斐伊川河川整備計画の前に策定されたものであるため、下流狭窄部拡幅の改修効果が考慮されていない。



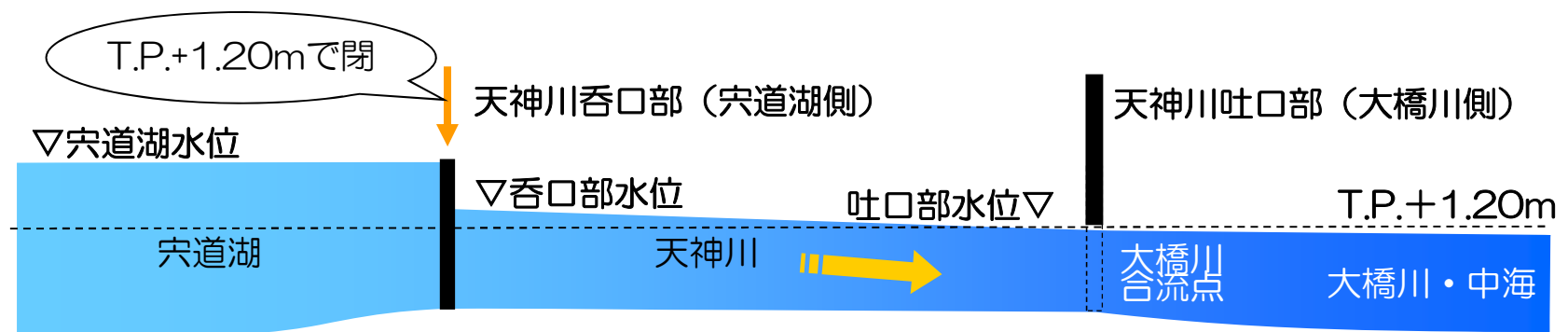
将来想定される土地利用状況と将来の河川整備状況を考慮した内水処理計画を検討

- 大橋川の整備状況は、河川整備計画（今後20年間の計画）で改修された段階で検討
- 計画洪水 : 昭和47年7月洪水実績
- 許容湛水位 : T. P. + 1. 40m
- 大橋川水位 : 河川整備計画（今後20年間の計画）で改修された段階
 - ダム・放水路あり
 - 下流狭窄部拡幅あり
- 土地利用状況 : 天神川流域は、市街化が進行しているため現況
- 河道形状 : 天神川は、現況の河道

内水処理検討結果（橋南地区）

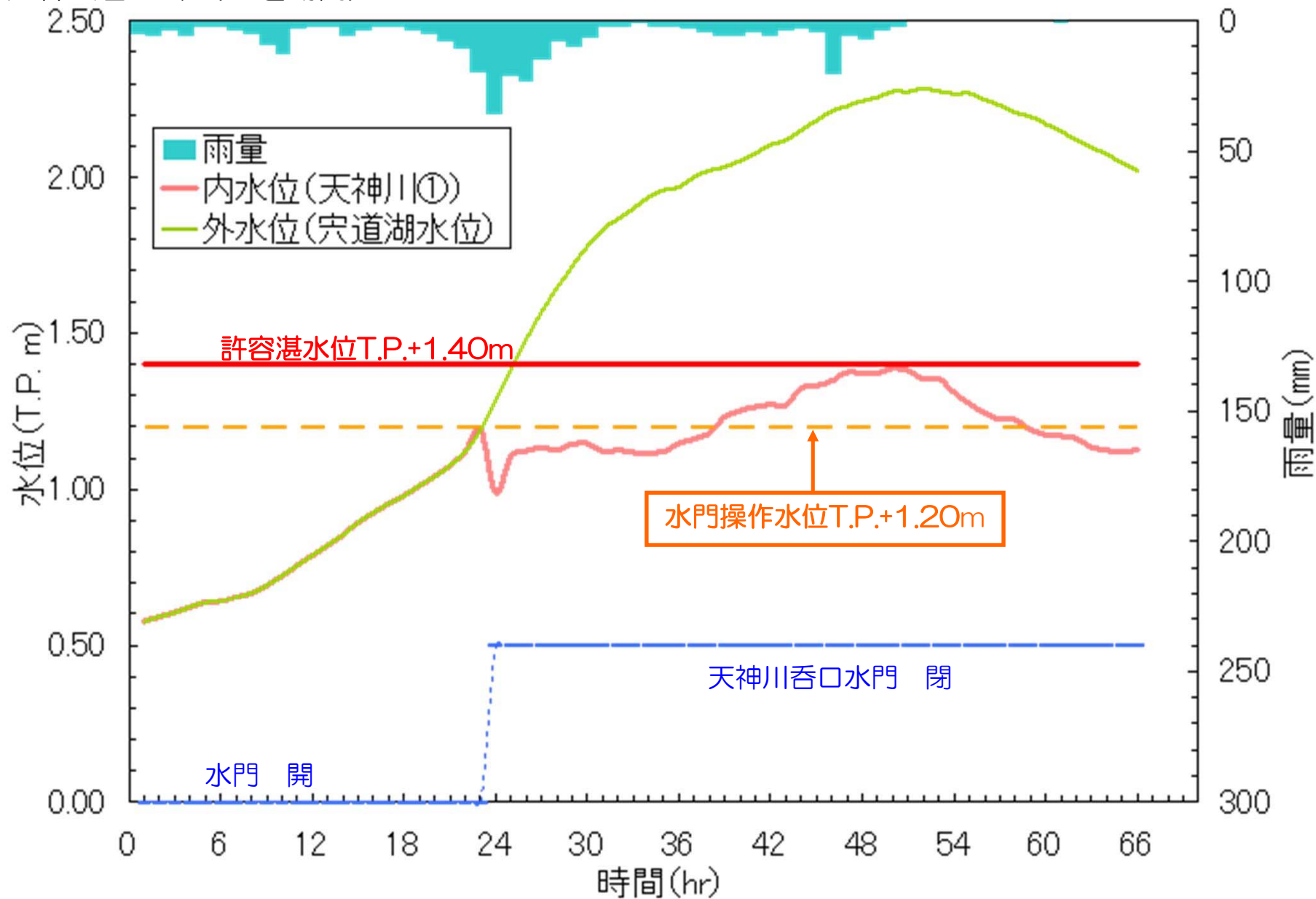
天神川水門（宍道湖側）の操作により、現況の断面であっても内水位は許容湛水位T.P.+1.40mを超過しない。

昭和47年7月豪雨と同規模の洪水



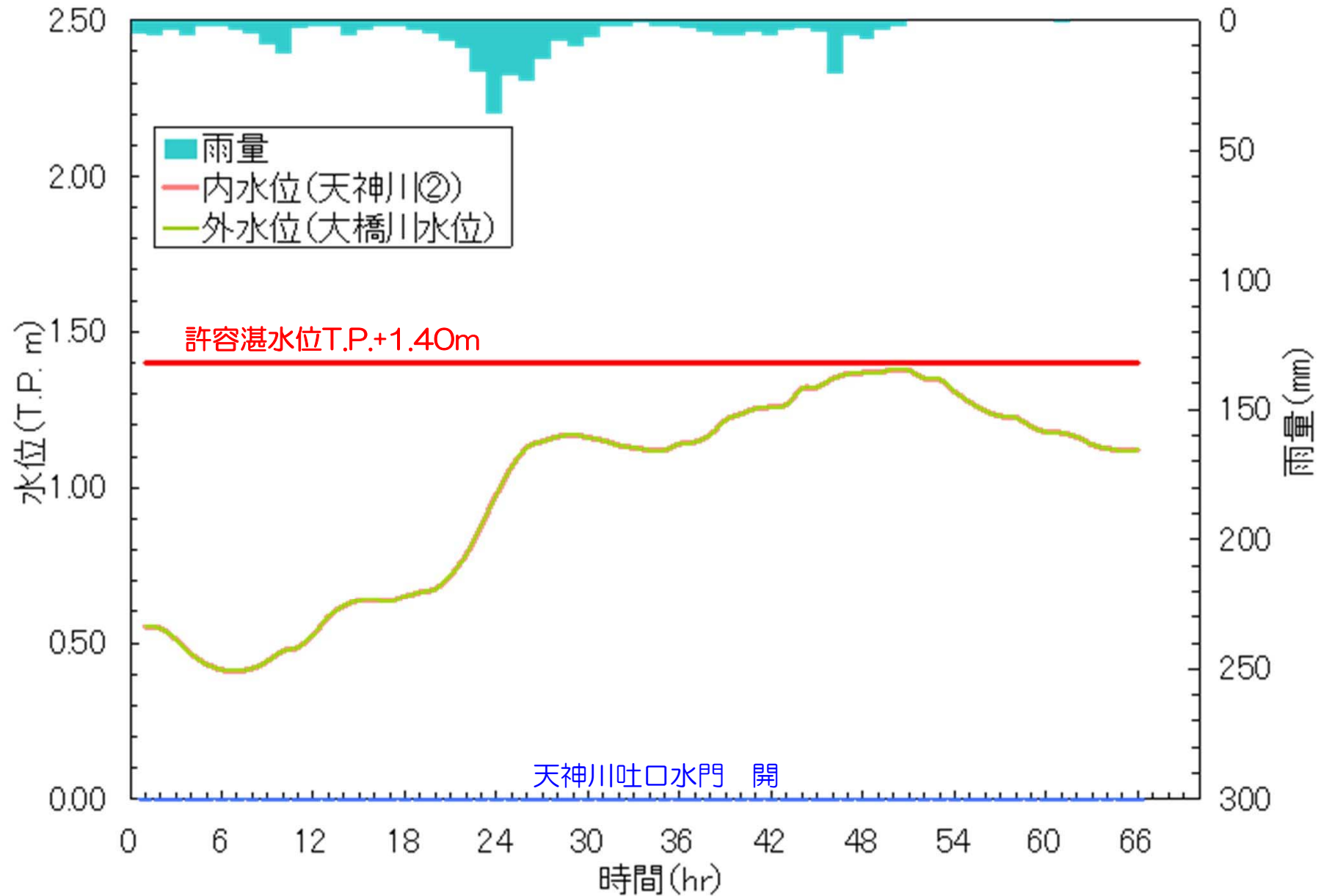
内水処理検討結果（橋南地区）

天神川呑口部（宍道湖側）



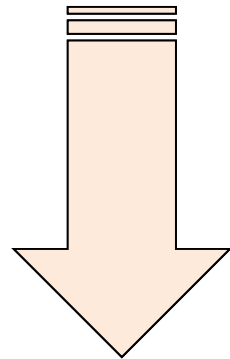
内水処理検討結果（橋南地区）

天神川吐口部（大橋川側）



内水処理検討結果（橋南地区）

天神川の呑口部の水門を閉め、吐口部水門を開けて大橋川へ自然排水を行うと、自然排水によって許容湛水位 T. P. +1.40m を下回る。



大橋川が河川整備計画（今後20年間の計画）で改修されると、大橋川の外水位は内水対策検討時に比べ10～20cm降下

大橋川が河川整備計画で改修され、天神川水門が整備されると、水門操作により対応が可能